

# 病虫害発生予察情報

## 7 月月報

平成 19 年 8 月 15 日  
東京都病虫害防除所

### 1 気象概況

2007 年 7 月	気 温 ( )						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	27.2	0.2	20.5	0.7	23.4	0.2	26	42	15.6	61
中旬	25.4	-2.7	22.5	-1.8	22.5	-1.8	170	356	4.3	19
下旬	30.1	-0.3	21.7	-1.0	25.4	-0.7	125	205	46.2	86
平均	27.7	-0.8	20.8	-0.4	23.8	-0.7				
合計							321	188	66.1	63

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差(比)：準平年値(1979～2000年の平均値)からの差(比)

気 温：上旬は平年並み，中旬は低く，下旬はやや低かった。

降 水 量：上旬は少なく，中旬・下旬は多かった。

日照時間：上・下旬は平年よりやや少なく，中旬は平年よりかなり少なかった。

<天候概況>

上旬：梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かった。

中旬：梅雨前線の影響で雨の日が多かった。特に 14, 15 日は台風の影響で大雨となった。

下旬：期間の中頃は高気圧に覆われて晴れる日が多かったが，前半は曇りや雨，後半は雷雨となった。

### 2 作物生育概況

#### (1)イネ

生育は前半やや遅れたが，後半には平年並に回復した。いもち病などの病虫害の発生は少ない傾向であった。

#### (2)サツマイモ

生育はほぼ順調である。

#### (3)野菜

果菜類等：半促成や普通栽培のトマト、キュウリは日照不足等の影響で、生育はやや劣り、また徒長ぎみの傾向を示した。キュウリでは枯れ上がりが平年より早い傾向であった。ナスは天候の影響から全体として、下葉の黄化や枝が細いなど株の生育が劣り、着果もやや不良であった。エダマメは概ね順調であったが、スイートコーンは台風 4 号の影響により、倒伏による被害がみられた。

葉菜類：施設のコマツナは日照不足の影響により株の太りが劣り、やや軟弱な生育を示したが、出荷に影響はなかった。露地のコマツナは一部の地域で降雨による生育不良がみられた。

イモ類：サトイモは順調な生育を示している。

## (4)果樹

ナシ：農総研果樹圃場（灰色低地土）における極早生品種‘あけみず’の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおり。平年差は 1 日でほぼ平年並であった。

収穫始 8 月 1 日（+ 1 日）

## (5)茶 樹

摘採の時期が早かったため、2 番茶の摘採もやや早く終了した。チャノミドリヒメヨコバイの発生が多かった。その他の生育状況は順調であった。

## 3 病虫害の発生概況

## (1) イネの病虫害

いもち病	< 並 >	発生は平年並であった。
紋枯病	< 少 >	発生は少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

## (2) 果樹の病虫害

## ナ シ

黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
黒斑病	< やや多 >	発生はやや多かった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

## 果樹共通

チャパネアオカメムシ	< 少 >	発生は少なかった。
クサギカメムシ	< 少 >	発生は少なかった。

## (3) 茶樹の病虫害

カンザワハダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 少 >	発生は少なかった。
チャハマキ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホソガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナガチャコガネ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

## (4) 野菜の病虫害

## トマト

モザイク病	< やや多 >	発生はやや多かった。
葉かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
白ぶくれ症	< やや多 >	発生はやや多かった。
オンシツコナジラミ	< やや多 >	発生はやや多かった。
タバココナジラミ	< やや多 >	発生はやや多かった。
オオタバコガ	< 並 >	発生は平年並であった。

## キュウリ

うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。

斑点細菌病	< 並 >	発生は平年並であった。
つる割病	< 並 >	発生は平年並であった。
ナ ス		
半身萎凋病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャノホコリダニ	< 並 >	発生は平年並であった。
エダマメ		
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
カメムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ダイズサヤタマバエ	< 並 >	発生は平年並であった。
ダイズサヤムシガ	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ		
萎黄病	< 少 >	発生は少なかった。
白さび病	< 並 >	発生は平年並であった。
炭疽病	< 並 >	発生は平年並であった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
キスジノミハムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネ ギ		
黒斑病	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギアザミウマ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

## (5) 花きの病害虫

## シクラメン

チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

## 花き共通の病害虫

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

## (6) 植木の病害虫

## 街路樹など

うどんこ病	< やや多 >	発生はやや多かった。
-------	---------	------------

## (7) 島しょの病害虫

大島：ブーバルジアでコナジラミ類，レザーファンでコガネムシ類の発生が多かった。

新島：アシタバでハダニ類およびアブラムシ類，ナスでニジュウヤホシテントウ，レザーファンでホコリダニ類およびスリップスの発生が多かった。エダマメ，トウモロコシおよびカボチャで野鼠の被害が目立った。

神津島：アシタバでヨコバイ類，ヤマトフキバッタおよびハダニ類，レザーファンでホコリダニ類の発生が多かった。

三宅島：アシタバでヨコバイ類の発生が多かった。

八丈島：野菜類でカタツムリ類，口べで炭そ病の発生が多かった。

小笠原諸島：かんきつ類でリュウキュウミカンサビダニの発生が多かった。

#### 4 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	7月6日	8月10日	0	0
大田市場	7月6日	8月10日	0	0
板橋市場	7月6日	8月7日	0	0
淀橋市場	7月6日	8月7日	0	0
青梅青果市場	7月9日	8月9日	0	0
昭島青果市場	7月9日	8月9日	0	0
八王子北野市場	7月9日	8月9日	0	0
多摩ニュータウン市場	7月9日	8月9日	0	0
国立市場	7月9日	8月9日	0	0
東久留米市場	7月10日	8月7日	0	0
備考	昭島：ミスジミバエ 1			

### テレフォンサービス

042(525)8407

インターネットの防除所ホームページ

<http://www.jpnp.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報，発生状況，防除方法  
などをお知らせしています。